

2月1日(火)、朝8時、学校集合。遅刻がちな生徒も今日ばかりは時間厳守。貸切バスが雪のため遅れる。2年生17名・3年生6名・教員5名が、寒さに震えながらも笑顔で出発。鳥取県若桜町の「氷ノ山」スキー場での1泊2日のスキー・スノーボード宿泊研修。勝英地区には、大雪注意報が発令中。鳥取県の八頭地区にも大雪注意報。よりによって、今冬最高の寒波の中、少し心配するが、バスの中から手を振る生徒は、あくまでも明るい。気分だけは若い私も、一緒に行きたいのだが、留守番となった。残った4人教員で、スキー場に設置されたカメラのインターネットライブ中継の若干不鮮明な画面に、暇を見つけては見入っていた。突然、山本美由紀先生の携帯電話が鳴る。「カメラの前に居るよ」と生徒のはしゃいだ声。目を凝らしてみると生徒と先生らしい。相変わらず元気。寒いかと聞くと「-10度くらい」と電話の声。

1日の夜には、警報も発令されたが、朝には、解除された。泊まった夜の間に50cmの新雪。2m近い積雪に、雪には馴れているはずの生徒も仰天。

2日(水)午後3時40分に全員元気に帰校。行けなかった私は、生徒・先生から取材するしかない。



山下文晴先生の言。

非常に寒い中、生徒は本当によく頑張っていた。滑る技術もめきめきと上達し、大原高校の生徒の能力の高さを改めて実感した。宿舎でも、集団行動のマナー

を全員がきちっと守ってくれ、有意義な研修となった。

小淵由衣さんの感想。

吹雪いていて目を開けられ無いこともあった。まっげが凍り付きびっくり。中学生が転んでいたのを助けてあげたが、立ったのはいいが、そのまま私にぶつかった。山下先生が、スノーボーを丁寧に教えてくれ感謝。また行きたい。

中尾理恵さん感想。

スノーボードは初めてで不安でしたが、中島先生の教え方が上手だったので、助かりました。『木の葉』の滑りもできるようになり、充実した2日間でした。たいへん疲れたが、とても楽しい研修でした。

井上由季那さんの感想。

スキー宿泊研修、とっても楽しかった。2日間とも雪が降り最悪でした。顔は痛いし、鼻水は出るし、視界は悪いし。でも楽しく滑れたのでよかった。

居安麻衣さんの感想。

あり得ないくらい寒かった。後山とは比較にならないほど寒かった。最初は氷ノ山の雪と寒さに慣れなかったが、徐々に上手に滑れるようになった。みんな真剣に取り組み教えあったりしました。ますます友情が深まった2日間となりました。

生徒は、東西粟倉・大原とは比べものにならない寒さを実感。また、地元での冬を楽しむものとするにも、雪とのつきあいは肝要。楽しく有意義な宿泊研修となったはず。

(副校長 上原正之 2月3日記)



西栗倉幼稚園だより ★みんなが頑張った発表会★

保護者の方々、地域の方に来ていただいて平成16年度締めくくりの大きな行事”たのしい発表会”を2月11日に行いました。たくさんの方たちに見ていただいて子どもたちも緊張したようですが、盛大に終わることができました。発表会の可愛い園児たちのオパレッタ、踊りの姿を見てください。



← 次ページへ

三年生では三学期の社会科で昔（おじいさんやおばあさんの子どもの頃）のことを勉強しています。

初めに民芸館を見学しました。家庭ではもう見られなくなった家具や農具などがたくさん展示してありました。それからたくさん体験してみようということのでいろいろなことに挑戦しました。

「かきもち作り」

おもちを作って、それにむした豆を入れました。それを一日おいて固めてから、ほう丁で長四角に切りました。かきもちをつくるのは大変だとわかりました。やわらかいときに切らないのは、かたくなってから切らないと形がくずれてしまうからなんだなと思いました。

（桃・梨香・美笛）

「七輪で焼いて食べた」

かきもちとおもちを七輪で焼きました。四角いおもちを焼いたら、「プワー」と焼けました。丸いおもちがふくれてしぼんでしまいました。マンガとは全ぜんちがつて形よくふくらみませ

んでした。

七輪で焼いたら、いつも焼いているオーブントースターのときよりすごくおいしかったです。

（拓磨・若菜・愛香）

「電話機」

ダイヤル式の電話を体験しました。みんな黒電話は初めてでした。ほとんどの人が使い方を知りませんでした。先生に教えてもらってわかりました。電源の入っていない電話で、自分の家の電話番号を回してみました。0からつめの所まで持っていくのが大変でした。昔の人はみんなすらすら回せていてすごいなと思いました。

（弘嗣・朋実・七瀬・雅仁）

「せんたく」

せんたく板とたらいを使ってくつ下をあらいました。昔のせんたくをしてわかったことは、ぎざぎざの所であらうとよくよごれが落ちるということです。昔の人は、冬手が冷たいのに大きい服や大きいタオルをあらって大変だったと思います。

（彩・真美・詩織）

「ごはん」

おかまの代わりになべでごはんをたきました。まず、米をあらいました。水が冷たくて手が真っ赤になりました。あらって一時間くらいたったお米をなべに入れて火にかけて少したつと、ふつとしました。それからとてもいいにおいがしてきました。火を止めてから少しむらしてから食べてみました。おこげは少し苦かったけど美味しかったです。

（俊大・知明）

「石うす・だんご作り」

二つの石うすで米と大豆をひきました。石うすは重くて子供では運べませんでした。それに、回すのが重かったし、ハンドルが時々外れたので大変でした。速く回すとざらざらのつぶになることがわかりました。きなこのいいにおいがしました。

おだんごを作って食べました。米がおもちのようになりました。少しかたかったけどみんなで作ったのでおいしかったです。苦労してこなにしたかいたが良かったと思いました。

（大二朗・葉月）



立志式

二月十日(木)、あわくら会館大ホールで立志式が行われました。

式典では、来賓の方々からいただいた激励の言葉に対して、生徒を代表して野々上ゆきさんが「自分の夢に向かって努力します。思いやりの気持ちを大切にし、助け合います。自分の役割に責任を持ち、きまりを守り、はじめをつけます。西栗倉村に生まれたことに誇りを持ち、どんなことにも自信を持って頑張っていきます。」と誓いの言葉を述べ、2年生全員決意を新たにしました。



立志式記念文集より

「私の夢」

井上夕香理

私は将来外国で日本語を教える先生になりたいです。去年の夏、私はホームステイに行き、日本語のクラスのある学校に通いました。生徒のみんなは「日本語はおもしろいから好き」とうれしそうに話していました。折り紙を教えてあげたときも、みんな楽しそうでした。だから私は、日本語の楽しいところや日本の文化などを外国の子どもたちに知ってもらいたいです。だから私は英語をはじめ、フランス語やイタリア語、中国語やロシア語など、様々な国の言葉を勉強して、できればたくさんのお国をまわって日本の事を教えたいです。だから今は、英語はもちろん国語や数学などががんばって勉強して、きつといつか人に教えることができる先生になりたいです。その他にも、日本でおいしいさん、おばあさん、そして小さい子どもたちに英語を教えられるようになりたいです。これが私の夢です。

「将来の夢」

春名 和哉

僕は、今ゴルフにはまっています。ゴルフは紳士的なスポーツというイメージがあります

が、今ゴルフは老若男女楽しめるスポーツとして普及しつつあります。

ゴルフは魅力的でもあります。具体的に、ボールを遠くに飛ばせた時、そしていいスコアが出た時など魅力がたくさんつまっています。

そして今、僕は県内で有名である興譲館に進学することを視野に入れ、勉学に励んでいます。そして今、プロを目指しがんばっています。

僕は根性ということばが好きです。ゴルフは根性ということばが一番あっていと思います。「ゴルフは根性」僕は、将来根性でプロになります。僕がプロになるところを見ていてください。



ぞうぐみ

